

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 亀戸教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動の提供をしている。	職員みんなで活動を提案し、話し合っ決めている。 活動によっては、利用児童の特性や成長に合わせてレベルを変えている。 体を動かす活動と椅子に座って行う活動、どちらも提供できるように活動スケジュールを考えている。	今後も継続していく。
2	利用児童に関する情報共有ができています。	児童に関する情報を職員間で共有できるようにツールを使用し、職員全員が保護者・利用者に対して対応ができるようにしている。	今後も継続していく。
3	教室環境が整っている。	十分な広さがあるため、利用児童たちが思い切り体を動かすことができる。 気持ちが崩れてしまった児童がクールダウンできる場所を用意している。	広さがあることで、利用児童に目が行き届かないというようなことがないように、しっかりと見守りを行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない。	地域交流ができるイベントが定休日に開催されていることが多い。	定休日以外に参加可能なイベント情報を収集する。
2	ヒヤリハットを活かしきれていない。	ヒヤリハットが発生したときは、環境を整える等対応をしているが、徐々に事例に対しての意識が弱くなってしまふ。	ヒヤリハット報告書について、定期的な振り返りを行う。
3			